

徳島県立那賀高等学校

せせらぎ新聞

第69号

発行/那賀地域中高一貫教育
研究委員会事務局
(徳島県立那賀高等学校内)
電話: 0884-62-1151
FAX: 0884-62-2590
那賀高校ホームページURL
http://naka-hs.tokushima-ed.jp/

「生徒一人一人の夢の実現」をめざして!

「地域とともにある学校づくり」の推進



校長 乾 修治

「新型コロナウイルスの感染拡大」を阻止するために、三月二日から全国のほとんどの学校が一斉に「臨時休校」となりました。三週間が経過しても状況は変わらず、本校の「第一学学期終業式」は、初のWeb会議システム(ZOOM)による開催となりました。新年度になっても、「新型コロナウイルス」の勢いは衰えず、四月七日、東京・大阪をはじめとする七つの都府県に対して、安倍首相が「緊急事態宣言」を発出したことから、異例の形の「第一学期始業式」や「令和二年入学式」となり、生徒の皆さんや保護者の皆様方には、いろいろとご迷惑をおかけしたと承知しております。

しかし、五月も下旬となりようやく「感染拡大」が一段落し、「緊急事態宣言」が解除されたことから、「チーム那賀高」として生徒の安全・安心を守るために万全の体制を整えた上で、本校は五月二十一日から徐々に「教育活動を再開していきました」。「県総体の中止」や「修学旅行の延期」「夏季休業の大幅な短縮」など、まだまだ「普通の生活」を完全に取り戻すためには時間が必要ですが、生徒の皆さんには、当たり前ですが、前にも出てきたことに感謝しながら、那賀高校で自分を成長させるために、精一杯頑張ってもらいたいと思います。我々教職員も、生徒の皆さんの学力保障・進路保障を教育目標の中心に据え、精一杯頑張りたいと思います。

新たに、森林クリエイイト科二十名、普通科四十九名の生徒が入学し、全校生徒百九十五名で、「新年度・新学期」がスタートすることになりました。まず、「森林クリエイイト科」ですが、開設五年目を迎えました。「持続可能な循環社会の形成に向けた、人と森林の新たな関わり方を創造し、地方創生を担う人材の育成」をめざし、生徒と全教職員が「つちりとスクラム」を組み、「林業教育」に取り組んできました。昨年度の卒業生は、我々の悲願であった「徳島大学生物資源産業学部」合格をはじめ、各地域の森林組合や林業関連産業など、本校で学んだ知識と技術を身にまとい、元気に巣立ってくれました。新学教科開設時に蒔いた種が、徐々に感じています。徳島県教育委員会の支援も絶大であり、林内作業車や森林地理情報システムなど高価な最新設備を整備していただく予定で、さらに、本校が地元企業と連携して商品開発をした「スマートフォンのスタンド」や「モンベル」などで、販売されることになりました。また、「拝宮和紙の製作」や「木頭スギの箸づくり」も継続して行っており、地域の伝統文化・技術の継承を通して、木育活動を実践し、森林資源の魅力を次世代に伝えていきたいと思っております。

次に、「普通科」ですが、生徒一人一人が自分の可能性を見つけ出し、能力を伸ばし、そして個性を生かしながら学べる「教育課程」となっており、進路に応じた教科が勉強できる「コース選択制」が大きな特徴です。二年生からは「情報ビジネス」「福祉」「総合教養」「応用」の四つコースに分かれ、より専門的・実践的に将来の進路に備えていきます。面接指導をはじめ、一人一人の進路に応じた、きめ細やかな指導を行っています。今年度は、「臨時休校」が続いたことから、現在オンライン教育に注目が集まっていますが、本校は昨年度の七月から、希望者に対して「スタディサプリ」の活用を勧めるなど、学力の定着に努めています。また、町内の福祉施設における「介護実習」やこども園における「保育実習」、「ボランティア活動」、服のリサイクル活動である「服活」、自然災害等に備えた「防災食の開発」などにも、地域の方々の協力をいただきながら、引き続き力を入れていきたいと思っております。部活動では、運動部・文化部ともに、本当によく頑張っています。また、国際交流も本校の大きな特徴の一つです。カヌー部の部員五名が、「東京二〇二〇オリンピック・パラリンピック」における県内の最終聖火ランナーに選ばれていましたが、そのイベントは中止となりました。また、「県総体」や「インターハイ」、「甲子園大会」などが中止、「全国総文祭」はWeb上で発表・交流になりました。八月月中旬からは、姉妹校であるオーストラリアの「セントメアリーズ校」を、本校の生徒五名と教員二名が訪問し、授業参観やホームステイを通して交流を深める予定でしたが、こちらも中止となりました。「新型コロナウイルス」の影響は計り知れず、このような状況は非常に残念ですが、生徒の皆さんには、これら一連のすべての出来事を糧として、「来たるべき日」に備えて、しっかりと力を蓄えていってほしいと思います。

県高校総体代替大会に出場して

ソフトテニス部
ソフトテニスでは、三年生大会が7月11日(日)に開催されました。参加ペア数の減少や応援の仕方など、例年とは違う点が多くありましたが、中学校から6年間ペアで一緒に頑張ってきた仲間と最後の大会に出場することができ、ベスト8という結果を残せたことが本当に嬉しいです。部活動で学んできたことは、これからの人生においてかけがえのないものになると思います。関わってくれたすべての方々、本当にありがとうございました。



弓道部
7月4日(土)・5日(日)に、鳴門大塚スポーツパーク弓道場で代替大会が開催されました。3年生にとっては最後の大会でした。男子は個人戦に3年生2名、女子は団体戦に3年生4名、2年生2名が出場しました。今まで出場した団体戦の中では一番良い成績でした。何より、チームの心が一つになり、最後は全員が笑顔で悔いなく終わることができて本当に良かったと思います。3年間ご指導いただいた鈴木師範や顧問の先生、支えてくれた家族、そして代替大会を開催してくださった関係者の全ての方々に心から感謝しています。ありがとうございました。



硬式野球部
硬式野球部は、7月12日(日)に鳴門オロナミンC球場において、徳島商業高校と対戦しました。残念ながら、勝利には手が届きませんでした。また、強豪校との力の差を痛感し、大変悔しかったです。3年生は引退となり、これからは進路決定に向けて野球で学んだことを生かしていきたいと思っております。1・2年生は、来年こそは良い結果が残せるように頑張ってください。応援してくださった皆さま、本当にありがとうございました。



入学式

四月八日(水)に入学式を行いました。普通科四十九名、森林クリエイイト科二十名、計六十九名が那賀高生として新たなスタートをきりました。新入生を代表して、森林クリエイイト科の大土真那さんが、那賀高校で地域創生の担い手としての自覚を持ち、勉学や部活動に励み、自己を磨くことを力強く宣誓しました。

入寮式

四月八日(水)に入寮式を行いました。今年度は総勢十七名の生徒が若鮎寮・竜峰寮となりました。寮生長の大田旭くんが歓迎の言葉を述べ、新入寮生代表として、大田くんがこれからの自立・自律を目標とする寮生活への決意を宣誓しました。若鮎寮・竜峰寮の良い伝統が、新入寮生の皆さんに受け継がれていくことを期待しています。

運動部紹介・現状報告

女子バレーボール部
東 希夢

女子バレーボール部は、3年生4名・2年生2名・1年生6名で「声・笑顔・元気」をモットーに、日々練習に励んでいます。3年生は出場できる大会が残り2大会なので、悔いの残らない試合ができるように毎日の練習を頑張りたいです。

剣道部
西 武翔

剣道部は、1年生3名が入部し、先生方のご指導のもと、日々練習に励んでいます。7月24日に3年生だけの大会があるため、それに向けて基本練習や体幹トレーニングを頑張っています。

弓道部
坂部実玖

弓道部は、3年生6名・2年生3名・1年生6名で日々の練習を頑張っています。代替大会が開催されるので、練習してきた成果を出す機会が得られとても嬉しく思います。大会では悔いのないよう精一杯頑張ります。

卓球部
渡越翔也

卓球部は、新入部員1名が入部し、代替大会はありませんが次の大会に向けて精一杯練習に取り組んでいます。1勝でも多く勝てるように頑張ります。

硬式野球部 蔭野勝梧

硬式野球部は、1年生5名が入部し、7月に行われる代替大会に向けて頑張っています。

ソフトテニス部 入江和磨

ソフトテニス部は、1年生男子8名・女子2名が入部し、基礎練習を中心にメンバー全員で頑張っています。

カヌー部 中田隆真

カヌー部は新入部員が8名入り、計24名で代替大会に向けて日々練習を頑張っています。

バドミントン部 岩野李実花

バドミントン部は、11人の仲間が増え、8月の試合に向けて練習に取り組んでいます。引退した3年生もそれぞれの進路に向けて頑張っています。

(学校運営協議会制度)
コミュニティ・スクールについて

7月14日(火)午後3時から、本校研修館の大会議室において令和2年度第1回那賀高等学校学校運営協議会が開催され、那賀高校振興についての貴重な提言を各委員からいただくことができました。

この学校運営協議会は、年3回開催の予定であり、那賀町教育委員会教育長を会長に、徳島大学生物資源産業学部教授、大塚製薬株式会社徳島フジキ工場工場長をはじめとする計7名の委員で構成されています。

当日は、本校から各委員に対して、コミュニティ・スクール導入に伴う新たな取組を提案させていただいたところ、各委員から前向きで建設的なご意見を数多くいただき、大変有意義な協議会となりました。



〇コミュニティ・スクールとは

学校運営協議会制度を導入した学校のこと。学識経験者・地域住民・保護者の皆さんが、学校運営や学校の諸課題に対して、学校とともに共通の目標を持ち、地域の教育力を生かしながら、よりよい学校を目指す取組を充実させることを目的としています。

徳島県教育委員会では、県内全域で「地域とともにある学校づくり」を推進するために、令和4年度までに公立学校240校に、この「コミュニティ・スクール」を導入することを目指しています。本校では、県立学校の中では先駆けて、このコミュニティ・スクールを導入しました。

**那賀高校
教育振興協議会**



6月11日(木)に那賀町地域交流センターにおいて、会長の坂口博文那賀町長、顧問の杉本直樹県会議員をはじめ本会員21名にご参加いただき、令和2年度の総会を開催しました。総会では、令和元年度事業報告や会計決算報告及び監査報告がなされ、続いて令和2年度事業計画等の議案が承認されました。また学校への提言として、特別教室へのエアコン設置をご提案いただいたほか、振興協議会奨学生についても承認されました。会長をはじめ役員の皆様方、多大なご支援をいただいていることに心より感謝申し上げます。



1学年 親睦球技大会



今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、恒例の1学年の太龍寺への遠足が中止となりました。そこで、学年全体で親睦を図ることを目的に、各クラスで話し合い決定した球技を2日にわたり2時間で実施しました。

6月16日(火)には、11HRと13HRが中心となり進行した「バスケットボール」で汗を流しました。さらに、6月25日(木)には、12HRがリーダーシップを発揮し、ドッチボールで盛り上げました。最初はごちなさを感じられましたが、次第に声援や楽しそうな笑顔が増えていきました。十分な時間は取れませんでした。1学年にとっては最初の団結力を築く貴重な親睦球技大会となりました。



防災クラブ立ち上げ式

6月15日(月)、視聴覚室において防災クラブ立ち上げ式を開催しました。防災クラブの活動をとおり、災害発生時に「何をすべきか」を考え、災害に対して十分な準備を講じられる高い防災意識を持ち、地域のボランティア・防災リーダーとなる人材となるため、様々な活動に取り組んでいきたいと思ひます。

今年度、次のような活動を予定しています。

- ・避難経路及び危険箇所の確認
- ・校内防災避難訓練
- ・アルファ米やハイゼックス袋を使った防災食試食会
- ・校内防災研修会(11月予定)



**森林
クリエイト科**

木工商品紹介

本年度から、本校森林クリエイト科の生徒たちが、那賀町で産出された木材を利用して製作した商品や株式会社「N & E」と連携した「MDF」を使用した商品を、阿南市のホテルサンオーシャンで販売させていただくことになりました。

★主な商品

- ・スマホスタンド12星座
- ・名刺入れ ・キーツリー
- ・オセロ
- ・スマホスピーカー
- ・筆箱 等々



不定期ではありますが、商品の入れ替えや新商品の入荷も行っています。お立ち寄りの際は、是非ご覧ください。

**刈払機取扱作業者
安全衛生教育**

6月17日(火)・18日(水)、森林クリエイト科1年生を対象にした「刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育」講習を、那賀町林業テクノスクールのご協力のもと実施しました。新型コロナウイルスの影響で、本年度は実施が約1ヶ月遅れましたが、5期生として初めてとなる林業関係の資格取得を行うことができました。今回身につけた知識や技術を、今後の林業実習に役立てていきたいと思ひます。



家庭クラブテレビ会議

6月22日(月)、令和2年度徳島県立高等学校家庭クラブ連盟代議委員会がテレビ会議にて開催されました。昨年度の行事・決算報告や新役員を選出・承認、今年度の行事及び予算案審議などが主な内容で、今年度は3年生の中泉紗姫さんが家庭クラブ連盟の委員に選出されました。



新型コロナウイルスの影響で、多くの行事が中止や延期となりますが、本校家庭クラブの代表として積極的に取り組んでいきたいと考えています。

フォレストキャンパス 入山式

6月24日(火)、森林クリエイト科5期生がこれから3年間林業実習を行う「フォレストキャンパス那賀」で入山式を実施しました。徳島県南部総合県民局次長 枝川様からの激励の言葉や、関係者の皆さまより、那賀町の林業や実習内容について詳しく説明していただきました。生徒代表として、秋田岳さんが、林業学習についての決意を力強く述べ、これから3年間の活躍を誓いました。



バス停の清掃活動

6月16日(火)の放課後に、JRC部と家庭クラブ員で那賀高前バス停の清掃活動を実施しました。普段多くの生徒が利用しているバス停が、少しでもきれいになるように、ゴミ拾いやベンチの拭き掃除を行いました。今後も、定期的にバス停の清掃活動に取り組んでいきます。